



# おにぎり通信

2021年6月12日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

現在の菅首相が目指す社会は、自助→共助→公助の順番です。まず、自分で何とかする(自助)、だめなら家族・地域で助け合う(共助)、その上で、政府が生活保護などのセーフティネットで守る(公助)、というもので、何となく冷たい感じがします。

これに対して、昔の大平首相は、政治とは？と聞かれ、「明日枯れる花にも水をやることだ」と答えました。裏面にその言葉をいくつか紹介していますが、こんな思いをもった政治家が増えると、世の中が少しよくなるように思います。


福祉行動は、しばらくお休みします。


お困りの方は、おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌月曜日に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

 おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ

 おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい



四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麹町6-5-1 聖イグナチオ教会  
 連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)

おおひらまさよし  
【大平正芳】

げんしょく そくりだいじん せんきよ のぞ ねん がつ  
現職の総理大臣として選挙に臨んでいるさなかの1980年6月12  
にち おおひらまさよし きゅうし ねんあま た ふうぼう  
日に、大平正芳が急死してから、もう40年余りが経ちます。その風貌  
から「讃岐の鈍牛」とも呼ばれましたが、政界一と言われた読書家で、  
した たなかかくえい おおひらくん せいじか しゅうきょうか  
親しかった田中角栄は、「大平君は政治家というよりは宗教家、  
てつかくしゃ しょう のこ ことば い か しょうかい  
哲学者」と称していました。残された言葉を、以下にいくつか紹介し  
ますが、どれも実直ながら包容力のあるその人柄を表すものです。

くち い かにてい しょくば ちいきしゃかい くに  
— ひと口で言うと、家庭でも、職場でも、地域社会でも、あるいは国  
でもどうしたらアウトサイダーをつくらずにすむかということ。『お前  
はのけ者』とか『必要でない』というから人間関係が乱れてくる。だ  
からアウトサイダーをつくらないことが政治の根本になる

にんげん かなら けってん しょうじき  
— 人間には必ずいいところもあれば欠点もある。正直なところも  
あればずるいところもある。その人間がぶつかりあって社会を作っ  
ているから、人間社会は面白いんだ

にほんじん おお とら かにた  
— 日本人は、という大きな捉え方をしないようにしている。まず、  
じぶん こじん しゅっぱつ おも じぶん  
自分から、個人から出発させるべきだと思う。だれでも、自分あるい  
は家庭にたいしては抜き差しならない立場にあり、責任を持っている。  
せいかつ しんじつ なか へいわ はんえい かんが ほんとう へいわ う  
生活の真実の中から平和と繁栄を考えてこそ、本当の平和が生まれ、  
りそうてき しゃかいじん こくみん う おも いみ  
理想的な社会人、国民が生まれると思う。よい意味でのエゴイズムに  
てっ  
徹したらいい

かんが かんが かんたん こた しめ  
— よく考えてみると、神さまはそんなに簡単に答えを示さない。そ  
れは、人類に対する神さまの愛情だと思う。簡単に答えが出てしまっ  
たら、もう終わりだからね。それから退屈さが始まり、歴史の進行が止  
まってしまう。へいわ そうそう ひとくち たっ  
平和の創造と一口にいうけれど、いつまでたっても、達  
せられない道標だろう。しかし、それを達するべく一生懸命に毎日、  
あせ すがた れきし み おも  
汗をかいておるといふ姿が歴史であると思えるべきだと思う